



# なるほどなっとくニュース

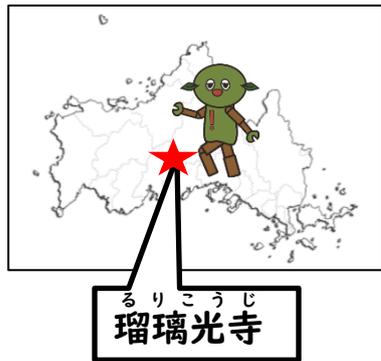
なっとくんの「なるほどなっとくニュース」は、県立山口博物館ホームページでダウンロードすることができます。

## CM

Community Museum  
地域の宝 学校の宝

**病をいやす薬師如来**—**瑠璃光寺**もう一つの**魅力**—

新型**コロナウイルス**感染症の影響で、私たちのくらしが変わってきました。ウイルスの流行が収まり、はやく元の日常に戻ってほしいと願うばかりです。このような時だからこそ、みなさんに紹介したい場所があります。それは**山口市**にある「**瑠璃光寺**」です。日本の国宝でもある「**五重塔**」はみなさんもお存知でしょう。今回はその本尊(信仰の対象)「**薬師如来**」について紹介し、瑠璃光寺のもう一つの魅力になっとくしてもらおうと思います。

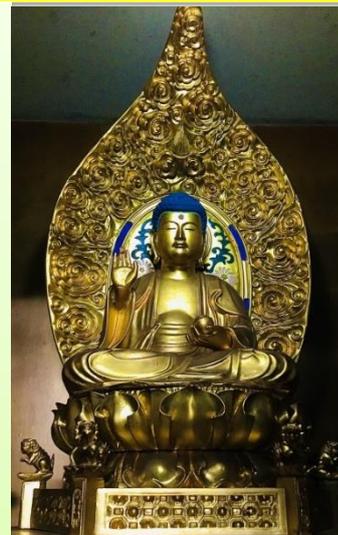


瑠璃光寺

薬師如来は左手に薬のつぼを持っていて、その薬で**病気の回復**や**健康長寿**、**安産**のような、**生きている私たちにやすらぎと希望**を与える**仏様**です。信仰したのが大内氏の重臣で陶弘房という武士でした。陶弘房は15世紀中頃に起きた「**応仁の乱**」で亡くなります。その死を悲しんだ妻が山口市の仁保に薬師如来をまつる瑠璃光寺をたてたのです。その後、現在の山口市香山町に寺は移されました。**瑠璃光寺の誕生**には、**薬師如来**を信仰した陶弘房と、その時代の動きが関わっているのですね。

これらの歴史を知って、**瑠璃光寺を訪れると、瑠璃光寺のもう一つの魅力に気づきます**。本尊に薬師如来像があり、本堂の横の県下一大きなしゃもじには「人間の生老病死の苦しみを救い給う瑠璃光如来」の文字が書かれています。その他、長寿薬師如来堂や災難の身代わりをする身代わり地蔵があります。

また、瑠璃光寺には、ご存じのとおり**国宝五重塔**があり、こちらには大内氏(義弘)がまつられています。歴史のさまざまな足跡をたどれる魅力いっぱいのお寺ですね。



(左)瑠璃光寺本尊薬師如来像  
ふだんは本堂の奥にみえます。今回特別に許可を得て撮影しました。

(右)県下一おおきなしゃもじ  
持ち手の部分に文字が書かれています。

